

R6 年度一般選抜前期日程 小論文 C (社会選修)

評価の観点・採点基準・解答例

【評価の観点】

	資料の理解	社会科教育への関心・興味	社会的思考力と論理的表現力
問 1	○	○	○
問 2	◎		○
問 3		◎	◎

【採点基準】

問 1

マジョリティ性の三つの特徴について理解し、指定字数内でまとめているか。(社会科教育への関心・興味、および、本文資料の基礎的な理解力)

解答例

マジョリティに属することで、社会における構造的な特権性を享受し、それによってマイノリティとは異なる優位な立ち位置から他者や社会を捉え、自分たちの文化実践を当然視してしまうこと。

問 2

日本で「日本人」がマジョリティ性に向き合うために重要だと筆者が考えていることを、指定字数内でまとめているか。(資料読解に基づく著者の考えの理解、および、社会的思考力と論理的表現力)

解答例

日本人も、多様な人種・民族や異なるジェンダー・階級のカテゴリーが交差する存在であることを認識することで、自分がもつ複数の立ち位置を意識し、カテゴリーを共有する外国籍の人々とのつながりを見出し、不可視化されがちな「日本人」アイデンティティの構造的な特権性から自由になり、その責任を引き受けること。

問 3

本文中の記述内容を踏まえて、社会科で伝えるべき内容やその教育方法についての自分

の独自の考えを論理的にまとめているか。(社会科教育への関心・興味、および、社会的思考力と論理的表現力)

#### 解答例

グローバル化が進む今日、人々のアイデンティティは多様化しているが、誰であっても、人種や民族など何らかの特定の属性をもつことで差別されることなく、共に学び、暮らせるべきである。そのためには、異文化を理解するだけではなく、自己を相対化する視点を養うことも重要だと考えられる。私はこうしたことを、社会科の授業で、日本に固有の文化だと思われていたものが外国との関わりを通じて歴史的に形成されてきた事例や、第二次世界大戦などの歴史的事象が個人や国、時代によって異なる見方で理解されうることを教えながら、児童や生徒に伝えたい。具体的には、以下の授業案を提案する。題材は児童や生徒に身近なものとして、給食の代表的なメニューであるカレーライスを用いる。まず、児童や生徒が、カレーが近代化以降、どのような経緯で日本に流入し、国民食になったのか資料をもとに調べる、次に、カレーの食材となる農畜産物の生産量や輸入量を文化や気候を踏まえて考察する、最後に、肉食をめぐる食習慣が変化している要因や宗教観による食文化の差異を調べ、外国のカレーを提供する地元のお店にインタビュー調査をして発表する、といった授業を行う。